

青葉台地区

青葉台地区は青葉区の南部に位置し、町名に樹木の名前が多く使われている閑静な住宅街と、青葉台駅を中心とした活気ある商業地区とで構成されています。地区内には2つの地域ケアプラザをはじめ、高齢者、障害者、子ども等に関する福祉施設が多いことも特徴の一つです。連合自治会や地区社会福祉協議会を中心に、商店会や各種団体・学校・企業等と連携した活動が活発で、住民どうしの交流も盛んに行われています。



地区内の町丁目 青葉台一丁目、青葉台二丁目、榎が丘（一部）、桜台、さつきが丘、しらとり台、つつじが丘、若草台

第3期計画の振り返り

- 福祉まつりでは、民生委員や施設の活動について、近隣住民の方々に広く周知できる良い機会となっている。
- 地域人材の発掘のため、気軽に参加しやすくなるよう、活動の内容が見える発信方法を考えていく。
- 風水害を想定した福祉施設での防災訓練をやっていきたい。
- こどもハロウィンまつりなど、子どもたちが主役のイベントを活性化できれば良い。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青葉台南店会、青葉台商店会、青葉台桜台商店会、地域子育て支援拠点ラフル、消防団
 担当地域ケアプラザ：さつきが丘地域ケアプラザ、青葉台地域ケアプラザ

地域で行われている活動



福祉まつり



こどもハロウィンまつり



介護施設支援訓練

青葉台地区 地域福祉保健計画（令和3年度～令和7年度）

5年後にめざしたいまちの姿

みんなが活躍し、ふれあいが深まるかがやくまち

目標1 顔の見える地域コミュニティをつくろう！



取組

- さまざまな世代の人々が集まる「福祉まつり」などをいかし、地域のつながりを深めていく
- 防災訓練やPTAとも連携している環境浄化活動、防犯パトロール活動を通じて、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進める
- 各商店会が行う活動に対して、地域をあげて協力をしていく
- 団体同士の連携・情報共有を図り、より充実した顔の見える関係づくりを進める
- 地域住民が健康づくりの活動を通して気軽に交流を図れるようにしていく

目標2 地域の人材を掘り起こし、まちづくりへの参加を促そう！



取組

- 「青葉台地区支えあいネットワーク」などを通じて、誰もが気軽に地域活動に参加、継続できるよう場づくりをしていく
- 誰もが地域の活動に関心が持てるように、様々な手段で工夫して発信していく
- 既存のお祭りやイベントなどの機会を通じて、若い世代にも活動に関心を持ってもらうよう声かけをする

目標3 高齢者・障がい者を地域で温かく見守っていこう！



取組

- 地域の福祉施設における防災訓練等を通じて地域内の相互理解を深め、日頃から支えあえる関係をつくる
- 支え合いカードやふれあい広場などを通じて、地域全体で高齢者や障がい者を見守っていく
- 地域の中で、認知症の高齢者や障がい者への理解を深める機会をつくる

目標4 すべての子ども達がいきいきと育つ環境をつくろう！



取組

- 子育て広場など、子育て世代が集まれる場を通じて、親同士がつながるきっかけづくりを支援する
- 学校と連携した地域の活動など、子どもたちのより積極的な地域参加を支援する
- こどもハロウィンまつりや夏祭りなどを通じて地域への愛着を深め、子どもたちのふるさとをつくる
- 地域のボランティアによる、登下校時の子どもの見守り活動を継続し、地域の中で温かい目で見守っていく